

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

1月

29日

友引 鶯

旧1月8日

日曜

妙法蓮華経序品第一

四し衆しゆ圍い繞によう

「教えを聴く四種の人々」

四衆とは教えを聴く次の四種類の人々のこと。
仏さまの教えを聴く機会を作る「發起衆」、教えを世に弘めることに努める「影響衆」、教えを聴いてすぐ理解する「当機衆」、教えを聴いてもよくわからないが、ありがたいと感じるからと聴こうとする「結縁衆」です。
どんな人でも教えを聴こうと来てくれたなら、力を尽くして教えを説こうというお釈迦さまのお姿が示されています。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

1月

30日

先負 参

旧1月9日

月曜

妙法蓮華経序品第一

無量義

むりようぎ

教菩薩法

きようぽ さつぽう

仏所護念

ぶつしよ ごねん

「無量の儀は一心より生ず」

「無量義」は量り知れないほど内容が豊富な教え、「教菩薩法」は菩薩を教化するための教え、「仏所護念」は仏に護られる教えという意味。仏さまの教えによって人々を救おうという菩薩の心が無量の教えを学ぶ源になります。自分の心がほんとうに仏さまに近づいたなら、どんな教えでも説けるようになるはずです。そして途中で道に迷わぬように仏さまが守ってくださいなのです。

法華経 日めくり

令和5年 癸卯

2023年

1月

31日

仏滅 井

旧1月10日

火曜

妙法蓮華経序品第一

無量義処三昧

「無量の儀は一心より生ず」

「三昧」とは心が少しも動かない状態のこと。深い教えは決して軽々しく説くことができませぬ。仏さまは説法の前後に必ず三昧の状態に入られます。どのように説いたら人々の心に届くのか、今説いたことがどれだけ世の中に弘まっていくなか、ということ念じて三昧に入るのです。私たちも大事なことを伝えるとき、聴くときは心を整えるように努めましょう。

妙法蓮華經。序品。第一

〔略〕

爾時世尊。四衆圍繞。供養恭敬。尊重讚歎。為諸菩薩。說大乘經。名無量義。教菩薩法。仏所護念。仏説此經已。結跏趺坐。入於無量義処三昧。身心不動。是時天雨曼陀羅華。摩訶曼陀羅華。曼殊沙華。摩訶曼殊沙華。而散仏上。及諸大衆。普仏世界。六種震動。爾時會中。比丘。比丘尼。優婆塞。優婆夷。天。龍。夜叉。乾闥婆。阿修羅。迦樓羅。緊那羅。摩睺羅伽。人非人。及諸小王。轉輪聖王。是諸大衆。得未曾有。歡喜合掌。一心觀仏。爾時仏放。眉間白毫相光。照東方萬八千世界。靡不周氣。下至阿鼻地獄。上至阿迦尼意天。於此世界。盡見彼土。六趣衆生。又見彼土。現在諸仏。及聞諸仏。所説經法。竝見彼諸。比丘。比丘尼。優婆塞。優婆夷。諸修行得道者。復見諸菩薩摩訶薩。種種因縁。種種信解。種種相貌。行菩薩道。復見諸仏。般